



山崎賢治 議員

学校周辺の交通安全対策は。

教育長
KYT学習(危険・予知・)
実施。(トレーニン)

学校周辺の交通安全対策について、どのように考えているのか。

教育長 本町では平成24年に「通学路における緊急合点検」を関係機関と実施し、子供たちが安全に通学できるように危険個所の点検を行った。平成25年度には継続した通学路の安全対策の推進を行っていくため、「知名町通学路安全プログラム」を策定、地域ぐるみで子供たちの安全な通学路対策について実施し、今年度中に推進協議会を実施し、安全対策を行う。また、11月に発生した事故をうけ、各小中学校でKYT(危険・予知・トレーニング)学習を実施し、児童・生徒自らが考え判断し安心・安全に登下校できるよう指導を継



27年1月には運転者へ注意を喚起する「セーフティハンド」を購入し、町内の小学校1年生を対象に配布する予定です。

さとうきびの振興策
①「増産基金」が14年で期限切れとなるが継続取組は。

町長 本事業により、堆肥や肥料、農薬などの購入助成が行われ経営が厳しい生産農家にとっては経営の削減が図られたのに加え安定生産の為、堆肥や緑肥等を活用した土作りの重要性を再認識した。また、追肥用肥料B400やメイチュウ防除薬剤オンコロK粒剤などを利用した病害虫防除により安定した生産量を確保する為の新しい技術を普及、定着させることにも繋がったのではないのかと思う。基金については、県を通じて事業の継続要請をしているところであり、今後も延長に向けた取り組みを継続していきたい。

②「農業振興計画」の進捗状況は。

町長 農業生産振興計画書については、今年度から中身について、より具体的に指標や行動プランの見える形での表記を指示した。それにより、より鮮明に振興

道路行政について。

方策への動きが見え、その事に対するPDCA方式でチェック、再検討を繰り返していく中で実現しようとするものである。その中で、本町さとうきび生産の課題と重点的に取り組む振興方策を8項目掲げ、中長期的な観点から課題解決に取り組む。まだ着手したばかりですが、これまでも取り組んできた事を具体的に実行していく。



町長 農道は耕耘機などの小型車やトラクター等のように大型でも遅い速度の農業用機械を通行させたり、農作業の集荷、肥料等の運搬の為の道路です。農道の管理は、伐採などの軽作業については、基本的には受益農家の共同ボランティア作業により管理をお願いしている。また、ハチマキ線や管理の行き届かない農道は年1〜2回行われる建設業協会ボランティア作業を毎年お願いして伐採をしている。法面崩れや陥没などは、農地災害復旧事業や町単独事業で対応している。

また、平成19年度から農地・水環境保全向上対策活動支援事業を導入し、各支援隊の計画により農道の管理保全を実施している。